

北足立北部退職校長会

会員だより

第 47 号

発行責任者

平 賀 健 郎

印刷所 吉 野 印 刷

北足立北部退職校長会として

会 長 平 賀 健 郎

本年度の北足立北部の総会において会長に就任しました平賀健郎です。今年度は上尾班一二名、鴻巣班一二四名、計二三名でのスタートであります。そして、九月六日に第二回の役員会が開催されました。

役員会では、各役員さんが、テキパキと会を進行し、今年度の三委員会の行事内容が決められ、無事終了となりました。

教育推進委員会は、「現職・退職校長教育推進研究協議会」の開催日を決めるために、事前に管内の教育委員会等の日程調整を行い、スムーズに開催日を決定しました。また、旅行委員会はバス代の高騰の中で、会員の皆様に楽しい旅行を提供するために協議を重ね、開催する運びとなりました。最後に、会報委員会は、担当役員が原稿の一字、一句を丁寧に校正し、会合を重ね、この会報紙を発行いたしました。さて、社会情勢が大きく変化し、学

校の置かれた状況も厳しさを増しています。

このような中で、本会の目的である会員の「親睦と福利厚生」を図ると共に、「教育の振興と地域の発展」に寄与することをどう具現化していくのが求められています。

特に、「教育の振興と地域の発展」は大変難しい課題であります。また、私たちだけでは、実現が難しい問題でもあります。

私は、まず、第一歩を踏み出すことが必要と考えます。それぞれの地域の方々と交流を深めていくことがスタートです。自分の好きな事や得意な事でも。さらに、地域の様々なボランティア活動、学校の学校運営協議会等への参加などを通して長い間培ってきた教職経験を生かしていくなど。

今後、本会は、会員の親睦と共に北部地区の小中学校へエールを送り続けたいと思います。

「除法の指導から」

副会長 長谷川 洋

小学校で算数の支援員となつて八年目。四年生の「 $2 \cdot 3$ 位数 $\div 2$ 位数」の除法。子供達全員を完全習得させることは、毎年苦勞する単元の一つである。「今年の子供達はどうかなあ。」と担任と組んで授業を始めた。(2位数 $\div 2$ 位数・商1位数) 順調。(3位数 $\div 3$ 位数・商1位数) 順調。「いけるぞ。」(3位数 $\div 2$ 位数・商1位数又は2位数)。流石に悩む子供も出てきた。子供達にとって、仮商の修正は難しい。また、余りと商が同数になつても商を一つ上げることには付かない子供もいた。しかし、支援を続けていった結果、筆算ができるようになった。その後、沢山の練習問題をやり、全員完全習得した。習得した主な理由は、①「繰り下がりの減法」や「かけ算九九」が、しっかり身に付いていた。②練習問題の場面では、クラスを3つのコースに分け、子供自らコース選択して、自分の理解度で学習したこと。③子供達が、難しくてもできる様になりたいと願う、強い気持ちをもっていたこと等、があげられる。苦勞しながらできるようになった時の子供達の満面の笑みや得意げな顔。私も、最高に嬉しい気持ちになり、「一緒に学習できてよかった。」と心の底から思った。

絆と一期一会

副会長 田 村 文 男

過日の日帰り懇親旅行は大変有意義な研修となった。中型バスも満席で、大塚委員長さんをはじめ委員の皆さんのご努力に、先ずお礼を申し上げたい。先輩の方々ともお会いでき、岡田先生からはいつも通り良いお話を伺った。本表題に「絆と一期一会」と記させていたのだが、退職校長会の絆を感じるひと時であった。私も上尾班の重責を担うにあたって、この「絆」と云うことを大切にしたいと、総会の挨拶でも述べさせていた。また、これから開催予定の「現職・退職校長懇話会」の準備で、過日、上尾市小学校長会、上尾市中学校長会、桶川市小・中学校長会、伊奈町小・中学校長会の会議に、各校長会長さんのご厚意によりお邪魔し、現職の全校長先生方とお会いさせていた。その折りに懇話会の趣旨をお話し、校長職を経験している者の絆についても強く話させてもらった。人との出会い、茶道で、「一期一会」と言う言葉がある。私自身も後期高齢者と言われる年齢を迎えた。先日、北海道の高校の同期会があったが卒業して六十年近く、旧友の計報を耳にし、日々のお出でこれが最後かもしれないと思うことの大切さを感じ、老齡故の一期一会を改めて考えた。

北足立北部だより

奈良 高 男

◇北足立北部定期総会

令和七年度総会は、五月十日(土) あげお富士住建ホール(旧上尾市文化センター)にて、事業報告、決算報告、予算案等が承認された。コロナ禍以降中止になっていた懇親会を総会終了後実施することができた。

○正・副会長以下の役員

- ・顧問 井関由美夫
- ・会長 平賀健郎
- ・副会長 長谷川洋(鴻巣班)
田村文男(上尾班)
- ・幹事(長) 奈良高男

(会計) 石塚富美江

(庶務) 柳 雅之

(委員長) 山下文孝、大塚 明、堀越洋子

(鴻巣班幹事長) 小谷野富雄

(上尾班幹事長) 青木一弥

・監事 佐藤豊明、黒瀬任通

・理事 各委員会名簿に表記

○第一回正副会長・幹事会

○第二回理事会・委員会

六月七日(土)クレアここのす中会議室
議題

- 一 本年度の事業計画の具体化
- 二 予算執行について
- 三 各委員会の活動内容と分担等

○第二回正副会長・幹事会

○第二回理事会・委員会

九月六日(土)クレアここのす大会議室
議題

- 一 各班退職校長会からの報告
- 二 本年度事業の進捗状況
- 三 各委員会の活動状況について

○教育推進委員会

山下文孝(長)・志村好文・牧田卓司・長谷川等・落合敬志・溝内靖夫
開催日…十月三十一日(日)
会場…クレアここのす大会議室

「彩の国教育の日」の一環として開催される『現職・退職校長教育推進協議会』に向けて企画・推進等。

○懇親旅行委員会

大塚 明(長)・茂木潤一・岩淵雅浩・福島正男・松本壽男・福田安孝
実施日…十月十九日(日)
訪問地…群馬県高崎市、富岡市方面
今年度は、高崎市の保渡田古墳群、富岡市の県立自然史博物館等への日帰り旅行の計画をした。二十六名の参加予定である。

○会報委員会

堀越洋子(長)・大塚 哲・加藤幸弘・田中 孝・佐々木智美・川原田一郎

会員だより第四十七号の発行に向けて企画・編集等。

○埼玉県退職校長会総会

六月十四日(土)本庄文化ホールで開催された。代議員十八名が参加。

上尾班だより

青木 一 弥

○定期総会

四月十二日、あげお富士住建ホールにおいて、上尾市教育長西倉剛様並びに班内の校長会長を来賓としてお迎えし、令和七年度上尾班退職校長会定期総会を開催。田村文男会長をはじめとする新役員案や令和七年度事業計画等、すべての議案が承認された。本年度の新会員は四名。

○令和七年度事業について

※本年度は各事業についての発展的な見直しを図るため、委員会を中心とした企画・運営に努める。

①会員だより「あおい」等の発行

「あおい」第三十二号を七月に発行。会報三十三号は三月に発行予定。

②退職校長名簿の作成

学校および地域との連携を目的とした「通学区域在住の退職校長名簿」を活用に備えてデータ化。

③会員研修・親睦会

十一月三日文化の日、会員研修として、さいたま文学館で開催された「長恨歌」のレクチャーコンサートに参加。終了後は親睦会を開催。

④現職・退職校長懇話会

学校支援の一環として、小・中学校校長との懇話会を一月に実施予定。

⑤同好会活動

彩光会(写真同好会)の活動。

鴻巣班だより

小谷野 富 雄

○定期総会

四月十二日(土) 北本市西部公民館にて、北本市教育委員会教育長宮尾孝様をご来賓に迎え、開催された。

前年度の事業・決算・監査報告並びに新年度の新役員・事業計画・予算案等が審議された。議案はすべて承認され、今年度は新会員四名を加え、百二十四名でのスタートとなった。

また、喜寿を迎える会員四名に、記念品代を贈呈した。懇親会も開かれ、会員相互の親睦も深まった。

○主な事業計画等

①第一回役員会

六月二十一日(土) 鴻巣市笠原公民館で開催した。県及び北部支部からの報告がされた。その後、今年度の研修計画について協議され、了解された。

②研修会

十月十日(金)に鴻巣市総合体育館武道場で「モルック」を体験する予定である。十八名の参加予定で、その後の懇親会もあり、会員同士の交流も一層深めたいと考えている。

③第二回役員会等

二月中旬に役員会を開き、次年度に向けて今年度を振り返り、会の充実のため工夫改善を図るつもりである。
三月下旬には、会計監査を行い、一年を無事に終えたいと願っている。